



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

9名の教育実習生来られる



▲後列左から國島先生、富永先生、高内先生
前列左から太田先生、松永先生、井上先生、一色先生、筑田先生、平野先生

本校では今年も教育実習が行われており、教育実習生として9名の先生方が来校された。このキマグレでは教育実習の先生方を紹介する。

高内 優先生 平野 仁時穂先生

数学を担当されている高内優先生。本校ご出身で当時は野球部に所属されていた。先生は教師を志した理由を「生徒と関わりを持ちたい」と思っただから」と明かされた。教育実習については「気合十分！入りすぎていくくらい」と笑顔を見せられた。本校生徒に向けて「高校3年間は人生の大部分を占める期間だ。青春してほしい」とメッセージを送られた。

情報を担当されている平野仁時穂先生。平野先生は教育実習に向けて意気込みを「情報主要科目ではなく実技教科なので、授業の時間数は決して多くはない。だから数少ない生徒との接点を大切にしたい」と明かされた。本校生徒に向けて「いろいろな人と幅広く交流をもって、面白くて刺激的な高校生活を送ってください」とメッセージを送られた。

富永 悠馬先生 筑田 祥永先生

生物を担当されている富永悠馬先生。富永先生は本校ご出身で、東鬼祭が一番の思い出だそう。教師を目指したきっかけを「生物にはあまり興味なかったが、東高の授業でその面白さに気づいた。教える立場に立ってその面白さを伝えたいと思った」と明かされた富永先生。本校生徒に「英語ができると将来の幅が広がる。英語を頑張ってください」とエールを送られた。

情報を担当されている筑田祥永先生。筑田先生は授業をされた感想を「多くの生徒の前で50分間も授業をするのは緊張した」と話され「先生方のようにはいかないかもしれないが、熱意をもってわかりやすく教えたい」と意気込まれた。また本校生徒に「焦らずに自分に合うことを見つけ、漠然と大学を選ばず将来何がしたいかを考えて行動してほしい」と助言された。

太田 夕奈先生 松永 恵佳先生 井上 夏姫先生 國島 聡史先生 一色 萌衣先生

現代社会を担当されている太田夕奈先生。本校ご出身で当時はボート部に所属されていた。先生は本校での思い出を「東鬼祭で団公演が2位に、団アピールが1位となり総合優勝できたこと」と振り返られた。先生は本校で出会った先生との関わりをきっかけに教師を目指されたそう。最後に本校生徒に「今しかできないことを全力でしてほしい」とメッセージを送られた。

国語を担当されている松永恵佳先生。本校ご出身で当時はボート部に所属されていた。先生は本校での思い出について「3年生のころの東鬼祭が印象に残っている。団アピールで1位になって、とてもうれしかったし楽しかった」と笑顔を見せられた。本校生徒に向けて「いっぱい食べていっぱい寝て、勉強も部活も一生懸命頑張してほしい」とエールを送られた。

国語を担当されている井上夏姫先生。本校ご出身で当時は新聞部とSS部物理班に所属されていた。先生は本校での思い出を「新聞部顧問の藤村知行先生には特に迷惑をかけた。また京極文子先生と藤村先生の授業が特に面白く、教師を志すきっかけになった」と振り返られた。先生は本校生徒に「やろうと思えば何でもできる。諦めずに頑張ってください」とメッセージを送られた。

生物を担当されている國島聡史先生。本校ご出身で当時は囲碁部に所属されていた。先生は教師を目指した理由を「両親が教師で、自分も大学で勉強していくうちに目指すようになった」と明かされた。本校生徒に向けて「勉強を頑張れば、それは必ず良い思い出になる。サボったら後悔してしまうので、精一杯頑張ってください」とメッセージを送られた。

物理を担当されている一色萌衣先生。本校ご出身で当時は箏曲部に所属されており、全国大会にも出場されたそう。先生は教師を目指したきっかけを「高校生のとき、物理が好きだった。物理が嫌いな人も多いが、私が楽しさを伝えられたらと思った」と明かされた。教育実習について「日々改善して行って、私らしく良い授業をしていきたい」と意気込まれた。